

平成20年度第6回太田地域協議会会議録

◆日 時：平成21年3月26日（木）午前10時00分～

◆会 場：太田文化プラザ「多目的ホール」

◆協 議

- (1) 平成20年度における太田地域協議会の活動報告について
 - (2) 太田地域振興計画について
 - (3) その他
-

◆出席した委員の氏名

出席委員 11人

大信田弘喜、大信田康雄、草彌太郎、倉田良子、小松一男、鈴木弘之、
田口誠毅、野中シゲ子、福原榮司、藤澤由希子、藤原鈴司

欠席委員 5人

伊藤昭子、加藤 進、小松 誠、鷹嘴信行、泉 澄彦

◆ 山王丸 愛 子（大仙市副市長）

◆職 員（本庁）

山 谷 勝 志（情報システム課長）

北 野 悟 （総合政策課参事）

◆職 員

大信田 哲 男（太田総合支所長）

高 貝 忠 造（市民課長）

鈴 木 成 人（農林振興課長）

佐々木ジョージ（建設課長）

熊 谷 和 則（教育委員会太田分室長）

高 橋 共 男（地域振興課長）

高 貝 清 一（地域振興課参事）

熊 谷 憲 一（地域振興課主事）

（午前10時00分開会）

○高橋共男地域振興課長（以下「地域振興課長」と表記）

それではただいまから、平成 20 年度第 6 回太田地域協議会を開会いたします。本日の協議会は、委員の 2 分の 1 以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 9 条第 3 項の規定によりまして成立したことを報告いたします。それでは開会にあたり山王丸副市長が委員の皆さまにごあいさつ申し上げます。

○山王丸愛子大仙市副市長（以下「副市長」と表記）

委員の皆さまには、これまで大仙市のまちづくりの基本となります市民との協働の趣旨をご理解いただき、お忙しい中協議会の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

大仙市は合併協議によりまして、地方自治法に定める地域自治区を選択し、各地域に地域協議会を設置しました。私は今日が 4 回目ですが、4 地域の協議会に出席させていただき、地元住民の皆さまの地域協議会での活動状況を実感しているところであり、市といたしましては、地域協議会は市長への諮問機関であるという位置づけのほか、地域枠予算をもとに地域それぞれの課題を自らの力で解決するという体制をつくっております。そのほか各地域の地域振興計画も作成していただくということで、委員の皆さまには本当にたくさんの役割を果たしていただき、大変ありがたく思っているところでございます。

この地域協議会は、委員の皆さまの任期満了に伴いまして来年度からまた新たにスタートを切ることになりますが、これからも私ども行政のパートナーとしてご指導ご鞭撻いただければありがたいと存じております。

市長が毎度申しますが、市政の運営にあたっては「市政は市民のために」この精神を基本理念といたしまして、情報公開や説明責任による開かれた市政を推進すること、さらには住民参加によって一歩踏み込んだ「市民との協働のまちづくり」に努めているところでございます。常に市民の皆さんの目線に立って現場に足を運び、皆さんと一緒に汗をかくということ、このことを市長は声を大にして申しております、私どももそれを一生懸命やっているつもりであります。市といたしましては、市民による市政評価制度を導入いたしまして、広報誌などの情報手段と通じて行政情報を市民の皆さんと共有する体制づくりにも力を入れております。地域におられる住民の皆さんがそれぞれの立場で地域づくりに参加、もしくは一歩足を踏み込んで参画しやすい仕組みを大仙市全域に広げるよう、今後も努力して参りたいと考えております。

せっかくの機会ですので平成 21 年度予算について、ご説明させていただきます。一般会計の予算総額は約 421 億 1,500 万円で、前年度と比較しましておよそ 8 億 4,000 万円の増、率にして 2% の増となっております。昨今の経済情勢を勘案いたしまして、平成 17 年 3 月の合併以来、初めて前年度を上回る積極型予算を組んだところであります。特別会計予算は 23 会計で 224 億 3,000 万円、企業会計予算は 2 事業で 19 億 8,000 万円、本市の予算全体では約 665 億 3,000 万円となっております。

さて、平成 21 年度は大仙市総合計画の 4 年目の年であります。市民と協働のまちづくりを基本といたしました大仙市の基礎を築くための施策や主要な継続事業を重点的に配分した予算編成となっております。特に、子育て支援や教育の充実が市の最優先施策と位置づけまして、予算編成作業を行ってまいりました。太田地域の主要事業ではありますが、一次医療圏、一次生活圏の交通手段確保を目的とした地域公共交通

システムとして太田地域コミュニティバス運行事業を本格運行いたします。また、太田国保診療所につきましては、先生2名を増員いたしまして3名体制として、診療体制を一層充実させることにしております。これによりまして、訪問診療や訪問看護を積極的に展開しまして、在宅医療については住民福祉の向上を願ひまして、経営のさらなる安定を目指しているところであります。村づくり交付金事業につきましては、平成21年度が最終年度であります。農業用排水施設整備が2路線、農道整備舗装が2路線、農業集落道整備舗装が1路線、自然環境・生態系保全施設3箇所の整備を実施いたしまして、完了することになります。そのほか、道路新設改良事業の主要なものは、中里温泉西側の市道沿いに歩道を新設いたします。舗装もして、温泉利用者の方々の安全を確保したいということで準備いたしております。さらに、ほ場整備であります。東今泉地区におきまして農地集積加速化基盤整備事業の平成23年度採択に向けた基礎調査の一環といたしまして、平成21年度は地形図の作成を行うことになっております。農業集落排水事業では、三本扇地区で管路施設の工事を行ひまして、平成23年度の供用開始を目指しております。

地域協議会委員の皆さまを対象とした予算といたしましては、平成20年度と同様に各地域協議会委員の皆さまを対象とした全体研修を開催するほか、先進地視察等の活動を支援する活性化事業も実施することとしております。そのほか、地域の独自性や特色を活かしながら地域課題に対応するための地域枠予算を平成20年度と同額の500万円を予算措置したところであります。

今後とも、市民本位・市民主体の市政の推進に努めまして、大仙市の基盤を整備し、市民が安心して暮らせる郷土を未来に残すべく鋭意努力したいと考えておりますので、これまで以上のご理解・ご協力をいただきますよう心からお願いいたしまして、簡単ではありますがあいさつにかえさせていただきたいと思ひます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○地域振興課長

本日の協議会に出席している本庁の職員をご紹介します。山谷勝志情報システム課長、北野悟総合政策課参事、以上の2人です。よろしくお願いいたします。

それでは協議事項に入ります。進行は副会長にお願いいたします。

○副会長

協議に入ります前に、会議録署名委員を私から指名させていただきます。鈴木委員と田口委員によろしく申し上げます。

本日の案件は「平成20年度における太田地域協議会の活動報告について」「太田地域振興計画について」の2件です。

始めに「平成20年度における太田地域協議会の活動報告について」協議会を代表しまして、草薨太郎委員から説明をお願いします。

(配布資料に基づき、草薨委員が説明)

○副会長

ありがとうございました。ただいま説明いただきましたが、他の委員の皆さんから補足や何かご意見等はありませんか。

次に「太田地域振興計画」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(配布資料に基づき、事務局が説明)

○副会長

ありがとうございました。せっかく立派な計画を作っても実施できなければ意味がありませんので、今後私ども協議会でもこれらについて、できるだけ計画を実施できるように研究しながら、努力してまいりたいと思います。

それでは最後にその他に入りたいと思いますが、昨年10月28日に開催した第4回地域協議会において「情報通信網の整備について」市長と懇談させていただき、協議会の場でご回答をいただいておりますが、委員より再度状況等の説明を伺いたいとの要望がありましたので、この要望の趣旨について説明をお願いいたします。

小松一男委員よりお願いします。

(小松委員より趣旨説明)

○山谷勝志情報システム課長 (以下「情報システム課長」と表記)

市では、平成19年3月に概ね10年後を目指した地域情報化計画を策定しております。その計画の推進状況についてご検討いただく推進委員会がございまして、その会の委員長を務めていただいているのが、小松一男委員さんでございまして、地域情報化計画の中でも、情報通信インフラにつきましては、最重要課題ととらえてございまして、市長、企画部長が10月の協議会時にも回答しているところでございまして、そういったことで、国、県それから通信事業者へ要望活動をしているところでございまして、今月12日にも市長、部長と一緒に仙台の総務省東北総合通信局へ要望してきております。

大仙市の情報通信環境についてですが、ADSLにつきましては未整備の所がございまして、西仙北の大沢郷局につきましては、平成21年度予算で改修を進めたいと思っております。太田地域のインターネットサービスですが、現在の状況は、アナログ回線を活用したISDNサービス、ADSLサービス、携帯電話の電波を利用した無線型通信サービスの3種類がございまして、ADSLサービスにつきましては、お手元に配布した資料がございまして、それに沿ってご説明させていただきます。太田地域のADSLにつきましては、合併前の平成14年度に高速インターネットアクセス網整備事業という県の単独事業でございまして、総事業費722万円で実施されております。助成金を受けました東北インテリジェント通信(株)がサービスを提供しているところでございまして、図中の円で示したのは局舎から半径4キロメートル以内のエリアですが、そのエリア内であれば、サービスが比較的受けられる範囲であると言われております。だいぶ広範囲でありますので十分使用できると考えております。東北インテリジェント通信へお申し込みいただければサービスが受けられることとなっております。ちな

みに、太田地域で利用されている方は 250 人程度おられると伺っております。

また、携帯電話の電波を利用した無線によるデータ通信も開始されておまして、携帯用の鉄塔が立っております。基地局といいます、NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンクが携帯電話の電波を利用してインターネットができるように対応しております。特に NTT ドコモは、3.5 世代というハイスピードのサービスを実施しております。

市といたしましても、昨年 11 月 20 日にドコモの担当者と一緒に、太田地域で 4 箇所の電波調査をしております。結果ですが、奥羽山荘付近が最も電波が強く 2.7 メガ、小松ばね工業さんで 2.2 メガ、中半産業さんで 1.36 メガということで、かなり強い電波がきていることがわかりました。高橋架設さんでは、鉄塔に一番近かったですが、建物が鉄骨造りということや周りに樹木があるという影響からか、電波の向きにもよりますが 0.16 メガという結果でした。ただ、外では 1.2 メガ出る場所があるので、対応できるのではないかと考えております。

その後、小松ばねさんと中半産業さんではドコモからのパソコンと専用の機器を 1 台ずつ 1 か月間試用してもらいました。その結果、ISDN より高速で全然違うとの話を聞いております。12 月 22 日には、KDDI から同じような機器を借りまして、太田地域 8 箇所の電波調査をしました。結果は、若干弱く 0.37 から 0.59 メガでしたが、ISDN より早いとのデータが出ております。比較的安定しておりますので、このような電波を使うこともできるのではないかと考えております。月々のインターネット利用料金は、ISDN が一番安くて、その次は ADSL、そしてドコモのハイスピードというような状況です。やはり無線を使うとなれば高くなっているようです。このようなこともございますので、ISDN より ADSL がだいぶ早く価格も比較的安価です。半径 4 キロ以内の方であれば ADSL を使うのがいいかと思っております。確かに弱い場所もありますが

それから、市の光ファイバー網の解放につきましては、通信事業者との協議は進めておまして、解放する方向で現在、検討はしております。ただし、市の光ファイバーは総合支所、各公共施設等まで敷設しておりますが、そこから市民の皆さまへ光ケーブルを敷設しなければいけません。それを市でやるのか通信事業者がやるのかという問題がございます。敷設経費がやはり一番かかります。太田地域内だけでも数千万円から 1 億円近くとされています。通信事業者が経費を負担してもやるとなれば、市としても解放しながら進めていく、あるいは市としての負担が少ないとなればもっと早く進むかとは思いますが、通信事業者と情報をやりとりしながら、太田地域でこのような要望があるということはその都度伝えております。

あとは、経費と採算面の問題でございます。通信事業者では、市でケーブルをひいて企業だけの解放となった場合でも、月々 5 万円以上の利用料金となるだろうとの話をしております。企業だけでなく一般の方々へも解放するとなると、やはり採算面の問題が発生すると思われま。このような情報をいただいておりますので、できれば通信事業者と時間をかけながら対応してまいりたいと考えておりますので、もう少しお時間をいただきたいと思っております。

それから、草薨委員から先ほど地域枠予算事業についてご紹介の中で、太田地域ガイドマップを作成中とのお話がございましたが、大仙市のホームページに各地域のブログコーナーがございます。完成されましたら、ぜひそちらに掲載していただければ

などと思います。太田地域の情報が全国展開されることにもなりますので、どうかそのようにしていただければと思います。

○副会長

ありがとうございました。前回の市長さんのお話からさらに具体的にご説明していただきましたが、これに関して何かございませんか。

○藤原鈴司委員（以下「藤原委員」と表記）

地域情報化計画での10年後はどのような姿を目指しているものか、そして今はどのような段階なのかを教えてくださいたいのですが。

○情報システム課長

この情報関係については、10年後の想定というのは難しいもので、この計画は大ざっぱな書き方しかしていません。詳しくは、アクションプランというものがございまして、推進委員の皆さまからも様々なご意見をいただいております。アクションプランというのは、平成19年から22年までの4年間を想定しています。これにつきましては、インフラ関係それから皆さまに提供しております福祉医療関係のサービス等全てのものを情報的にどうするかということで、市の総合計画に沿った書き方をしております。一つの例ですが、最終的に10年後には、できれば病院に行かなくても自宅にいながら診察してもらえるようになるというような想定をしております。ただし、どの程度までできるか、先ほども話しましたとおり無線が使えるので必ずしも有線でもなくても通信できるという点では、またさらに変わってくるのではないかと考えているところです。

○鈴木委員

今日この会議に遅れてきましたが、実はテレビ会議をしまして、本社と支社を結ぶテレビ会議に出席していました。職場でもそのような状況なので、家に帰るとパソコンは開きたくありません。会社で一日中情報機器にまみれているので自宅では使いたくない、そのような状況の中で将来5年後、10年後の展望の中で、利用価値があるものが出てきてくれると、住民の考え方も変わるのではないかと思います。

○情報システム課長

テレビ会議は市でも導入しています。市民用のものと職員用のものがあります。いつでもどこでも相談や会議ができるということが本来のあるべき姿だと思います。そのようなことが将来構想としてあります。人の交流もそうですが、情報交流もいつでもどこでもできるというのが、最終的な目標であると考えて計画を進めております。

○副会長

他にご意見等のある方はいらっしゃいませんか。

○藤原委員

太田地域振興計画は我々委員として携わってきた内容ですし、ワークショップでの

内容を非常に良くまとめてくださっていますし、感謝しています。前回初めて見させてもらってから引っかかるというか、付け足していただきたいことがあります。評価する時期あるいは見直す時期が見えるようにしてほしいと思います。やった結果として目的どおりに達成されたのか、あるいは手直しが必要だったのではないか、次の世代に残すためにはこうやった方がよかったのではないか、評価する期間というか時期というか、それを盛り込んでもらった方がいいのではないかと思います。おそらく調査して着手していく段階で含まれているのかもしれませんが、それが見えるようにしてもらえればもっと良くなるのではないかと思います。

○地域振興課長

委員の皆さんからワークショップを開いていただき、その後職員で協議して振興計画を作成したわけですが、市長から地域枠予算との関係があるので地域振興計画を作成して地域枠予算を執行するよう話がありました。私どもは、職員にも太田地域の振興計画を理解させるために、職員間で協議する場を設けたところです。この振興計画は、平成 21 年度から 26 年度までの 5 年間の計画ですが、毎年ローリングし評価し、皆さんから審議していただきながら、見直したり方法を検討したりしながら進めていきたいと思っています。来年度からは、地域振興計画にのっとなって大仙市の発展計画なり実施計画なりが進んでいくものと私なりに考えているところです。

○副会長

他に何かございませんか。

それでは特別ないようですので、これをもって、本日の協議会を終了いたします。引き続き来年度以降も委員をお引き受けいただく皆さんにつきましては、太田地域発展のために、今日の議論点をふまえながら一層のご努力をお願いしたいと思います。

最後に協議会を代表いたしまして一言申し上げたいのですが、この協議会ができて 4 年になりました。この協議会の当初から地域振興課長としておられました大信田支所長が今年度をもって退職されるということで、あらためてこの場をお借りしてお礼申しあげたいと思います。ありがとうございました。また、まだ発表されていないようですが、異動される課長さん方には本当にお世話になりました。ありがとうございました。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。それでは、本日の協議会をこれで閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。

会議録署名委員
